

平成 30 年度第 7 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所：平成 30 年 10 月 2 日（火）13：30～15：10 評議会室

出席者：廣川理事長（議長）、堺井副理事長、倉茂理事、山根理事、田端理事、井手環境科学部長、南川工学部長、水野人間文化学部長、甘佐人間看護学部長、鈴木教授、徳満教授、京樂教授、伊丹教授、久保田事務局次長、笹田委員、馬場委員、澤委員

事務局：山田総務課長、辻財務課長、吉野経営企画課長、澤村学生・就職支援課長、藤川教務課長、草川地域連携・研究支援課長、杉田課長補佐、堀江主任主事

平成 30 年度第 5 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

議 題

審議事項

- 1 公立大学法人滋賀県立大学学則の改正について
山田総務課長より資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり平成 30 年 11 月 1 日から施行する旨承認され、役員会に審議を委ねることとされた。
- 2 公立大学法人滋賀県立大学組織規程の改正について
山田総務課長より資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、平成 31 年 4 月 1 日から施行することとされた。
- 3 公立大学法人滋賀県立大学大学院学則・大学院履修規程の改正について
藤川教務課長より資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、履修規程については平成 31 年 4 月 1 日から施行することとされた。学則については役員会に審議を委ねることとされた。

報告事項

- 1 滋賀県公立大学法人評価委員会（第 3 回・第 4 回）結果概要について
廣川理事長より、資料に基づき説明があった。
[主な意見・質疑等]
・土地を貸しているコンビニエンスストアが撤退した場合、その土地を売却する可能性はあるか。彦根市や地元は、もともと大学に利用してもらうために売却した。
→コンビニエンスストアは、低利用地の有効活用だけでなく、学生の福利厚生や地域住民の利便性向上に資するといった側面もある。撤退した場合は選択肢の一つとして売却の可能性もありうる。
- 2 滋賀県公立大学法人評価委員会による平成 29 事業年度の業務の実績に関する評価結果について
山根研究・評価担当理事より、資料に基づき説明があった。
- 3 滋賀県公立大学法人評価委員会による第 2 期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について
山根研究・評価担当理事より、資料に基づき説明があった。
- 4 平成 30 年度第 1 回有識者懇談会の結果の概要について
廣川理事長より、資料に基づき説明があった。

- 5 教職員の採用・昇任について
廣川理事長より、資料に基づき説明があった。
- 6 学生の退学・休学・復学・除籍について
倉茂教育・学生支援担当理事より、資料に基づき説明があった。
- 7 平成30年度卒業・修了予定者の進路状況について
澤村学生・就職支援課長より、資料に基づき説明があった。
- 8 私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）に関する協定の締結について
草川地域連携・研究支援課長より、資料に基づき説明があった。
- 9 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 平成30年度第2回コンプライアンス委員会
 - (2) 平成30年度第5回・第6回衛生委員会
 - (3) 平成30年度第3回教務委員会
 - (4) 平成30年度第4回全学共通教育運営会議
 - (5) 平成30年度第4回・第5回入学試験委員会
 - (6) 平成30年度第4回・第5回・第6回国際交流委員会
 - (7) 平成30年度第1回遺伝子組換え実験安全委員会（書面開催）
 - (8) 平成30年度第2回動物実験委員会

[主な意見・質疑等]

(衛生委員会関係)

- ・今年度の時間外勤務が減った要因は何か。
→人事異動が少なかったことに加え、事前命令・事後確認が徹底されたことによるものと考えている。
- ・季節的に忙しくなる部署の人員を一時的に増員できないか。
→繁閑に応じた弾力的な人事配置は望ましいが、実際に、年度途中で、一時的に職員を異動させるということは難しい。ご指摘いただいた部署については、年度初めに1名の増員をしている。